

2010年世界農林業センサス三重県結果概要

1 農林業経営体

～農林業経営体数は17.7%減少(34,414経営体)～

平成22年2月1日現在の三重県の農林業経営体数は34,414経営体で、5年前の前回に比べ7,393経営体(17.7%)減少しました。

このうち、農業経営体数は33,601経営体で前回に比べ6,819経営体(16.9%)減少しました。林業経営体数は2,132経営体で、前回に比べ1,078経営体(33.6%)減少しました。

表-1 農林業経営体数

単位：経営体

区分	農林業 経営体	農業 経営体	林業 経営体
H22年	34,414	33,601	2,132
H17年	41,807	40,420	3,210
増減数 22年-17年	△ 7,393	△ 6,819	△ 1,078
増減率(%) 22年/17年	△ 17.7	△ 16.9	△ 33.6

2 農業経営体

(1) 組織形態別経営体数

～法人が増加し、非法人は減少～

農業経営体の組織形態別経営体数を5年前の前回と比べると、法人化していない経営体が減少している一方で、法人化している経営体が377経営体となり、68経営体(22.0%)増加しました。

表-2 法人数(農業経営体)

単位：経営体

区分	農業 経営体	法人	法人化し ていない
H22年	33,601	377	33,223
H17年	40,420	309	40,109
増減数 22年-17年	△ 6,819	68	△ 6,886
増減率(%) 22年/17年	△ 16.9	22.0	△ 17.2

(2) 経営耕地面積規模別経営体数

～3ha未満の農業経営体が減少し、3ha以上の農業経営体は増加～

農業経営体を経営耕地面積規模別に5年前の前回と比べると、3ha未満の農業経営体数が減少している一方で、3ha以上の農業経営体数が増加しており、特に5～10haの階層が17.7%、10ha以上の階層が58.3%と大幅に増加しました。

表-3 経営耕地面積規模別経営体数（農業経営体）

単位：経営体

区分	1ha未満	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10ha以上
H22年	20,907	10,827	952	505	410
H17年	26,198	12,665	869	429	259
増減数 22年-17年	△ 5,291	△ 1,838	83	76	151
増減率(%) 22年/17年	△ 20.2	△ 14.5	9.6	17.7	58.3
構成比(%) 22年	62.2	32.2	2.8	1.5	1.2

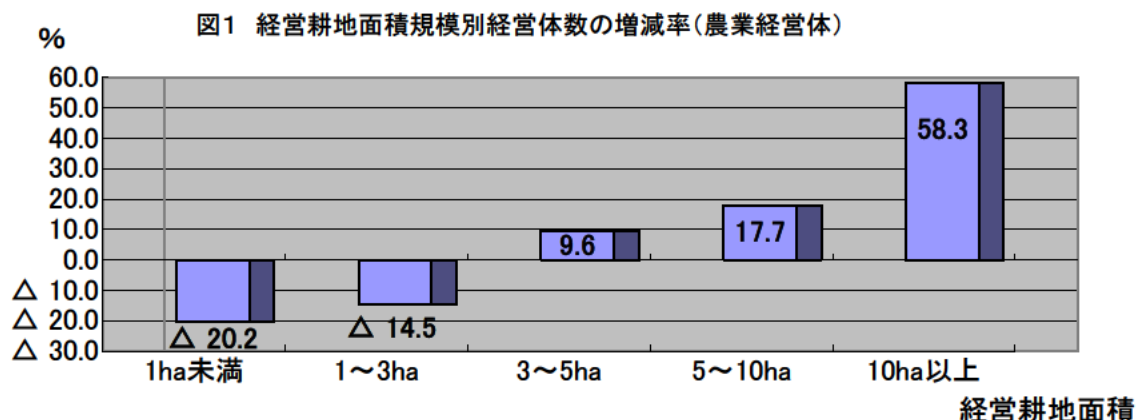
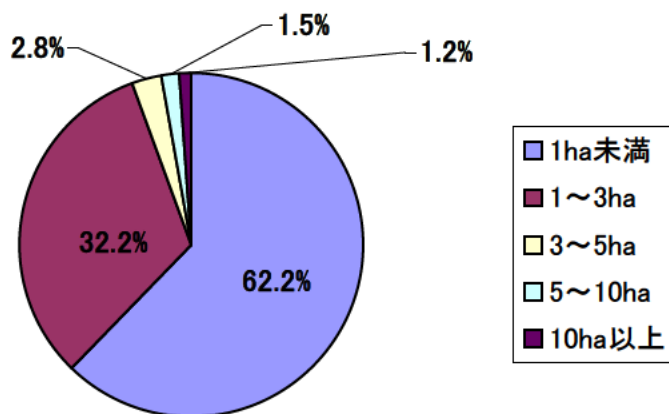


図2 経営耕地面積規模別経営体数の構成比（農業経営体）



(3) 農産物販売金額規模別経営体数

～農産物販売金額1億円以上の階層のみが増加し、その他は減少～

農業経営体を農産物販売金額規模別に5年前の前回と比べると、1億円以上の階層のみが15.8%増加していますが、その他の階層はすべて減少しました。

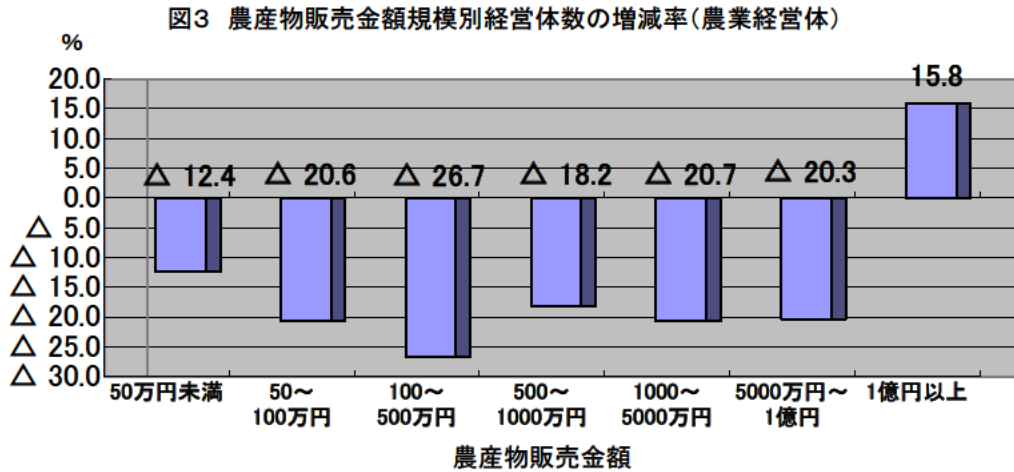
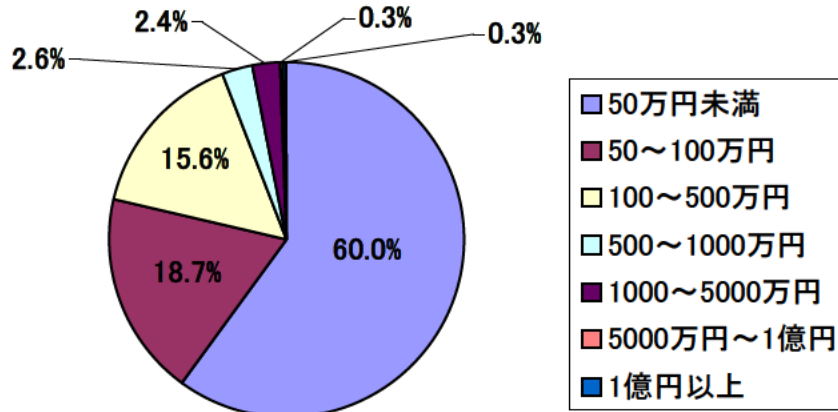


図4 農産物販売金額規模別経営体数の構成比(農業経営体)



(4) 経営耕地面積・借入耕地面積

～経営耕地面積は減少、借入耕地面積は大幅に増加～

農業経営体の経営耕地面積は45,213haで5年前の前回に比べ1.3%減少しました。耕地種類別にみると、前回に比べ、田が0.9%、畑が7.6%減少しましたが、樹園地が2.3%増加しました。

三重県での農業経営体の借入耕地面積は16,503haで、5年前の前回に比べ37.3%増加しました。

表-4 経営耕地の状況(農業経営体)

単位: ha

区分	経営耕地 総面積	経営耕地の状況			借入耕地 面積
		田の面積	畑の面積	樹園地の 面積	
H22年	45,213	37,302	4,106	3,806	16,503
H17年	45,788	37,628	4,441	3,719	12,023
増減数 22年-17年	△ 575	△ 326	△ 336	87	4,480
増減率(%) 22年/17年	△ 1.3	△ 0.9	△ 7.6	2.3	37.3

3 販売農家

販売農家の総数は、32,965戸で、5年前の前回に比べて6,886戸（17.3%）減少しました。

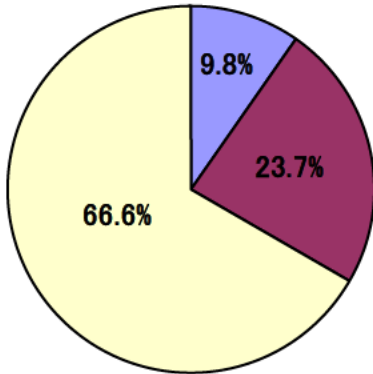
(1) 主副業別農家数

～主業農家、準主業農家、副業的農家ともに減少～

販売農家を主副業別にみると、主業農家は3,218戸で、5年前の前回に比べ601戸、準主業農家は7,797戸で前回に比べ561戸、副業的農家は21,950戸で前回に比べ5,724戸、それぞれ減少しました。

農業従事日数60日以上、65歳未満の世帯員がいない農家である副業的農家の構成割合が全体の約2/3を占めています。

図5 主副業別農家数構成比(販売農家)



■主業農家 ■準主業農家 □副業的農家

表-5 主副業別農家数(販売農家)

単位：戸

区分	販売農家	主業農家	準主業農家	副業的農家
H22年	32,965	3,218	7,797	21,950
H17年	39,851	3,819	8,358	27,674
増減数 22年-17年	△ 6,886	△ 601	△ 561	△ 5,724
増減率(%) 22年/17年	△ 17.3	△ 15.7	△ 6.7	△ 20.7
構成比(%) 22年	100.0	9.8	23.7	66.6

- ・主業農家：農業所得が主（農家所得の50%以上が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。
- ・準主業農家：農外所得が主（農家所得の50%未満が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家をいう。
- ・副業的農家：1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業農家及び準主業農家以外の農家）をいう。

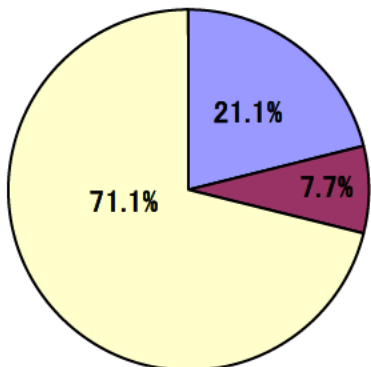
(2) 専兼業別農家数

～兼業農家が減少、専業農家が増加～

販売農家を専兼業別にみると、専業農家は6,964戸で、5年前の前回に比べ642戸、率にして10.2%増加しました。

兼業農家の内、第1種兼業農家は2,548戸で、前回に比べ1,150戸減少し、第2種兼業農家は23,453戸で、前回に比べ6,378戸減少しました。

図6 専兼業別農家数構成比(販売農家)



■専業農家 ■第1種兼業農家 □第2種兼業農家

表-6 専兼業別農家数(販売農家)

単位：戸

区分	販売農家	専業農家	第1種兼業農家	第2種兼業農家
H22年	32,965	6,964	2,548	23,453
H17年	39,851	6,322	3,698	29,831
増減数 22年-17年	△ 6,886	642	△ 1,150	△ 6,378
増減率(%) 22年/17年	△ 17.3	10.2	△ 31.1	△ 21.4
構成比(%) 22年	100.0	21.1	7.7	71.1

- ・ 専業農家 : 世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家をいう。
- ・ 兼業農家 : 世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家をいう。
- ・ 第1種兼業農家 : 農業所得を主とする兼業農家をいう。
- ・ 第2種兼業農家 : 農業所得を従とする兼業農家をいう。

(3) 農業就業人口
～低年齢層が大きく減少～

販売農家の農業就業人口を年齢別にみると、5年前の前回に比べ、低年齢層において大きく減少しており、80歳以上の年齢層のみが増加しています。

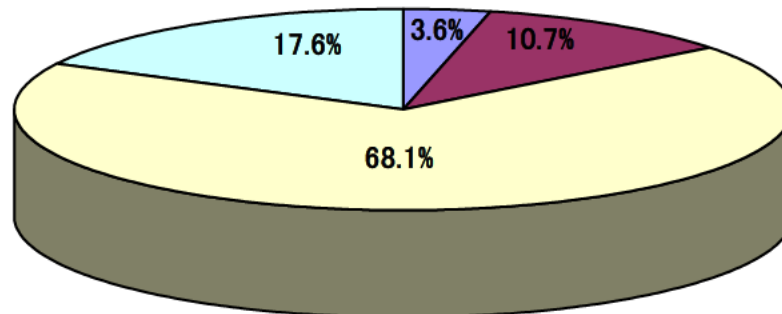
年齢別構成割合をみると、60～79歳層が全体の68.1%、60歳以上の農業就業人口が85.6%を占めています。

表-7 農業就業人口（販売農家）

単位：人

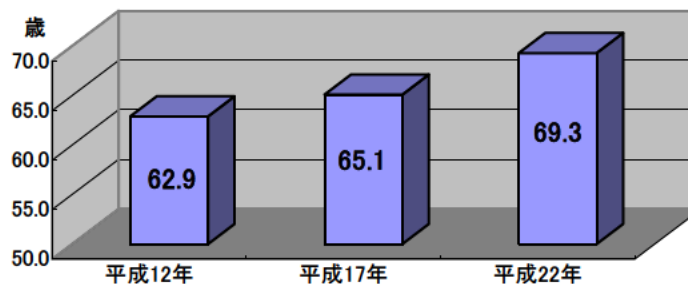
区分	農業就業人口	年齢層			
		15～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳以上
H22年	42,623	1,543	4,580	29,006	7,494
H17年	57,810	5,084	8,023	38,503	6,200
増減数 22年-17年	△ 15,187	△ 3,541	△ 3,443	△ 9,497	1,294
増減率(%) 22年/17年	△ 26.3	△ 69.6	△ 42.9	△ 24.7	20.9
構成比(%) 22年	100.0	3.6	10.7	68.1	17.6

図7 農業就業人口の年齢別構成比（販売農家）



■ 15～39歳 ■ 40～59歳 □ 60～79歳 □ 80歳以上

図8 農業就業人口における平均年齢（販売農家）



4 耕作放棄地面積

(1) 総農家、土地持ち非農家の耕作放棄地 ～増加ペースが緩やかに～

耕作放棄地については、7,223haで、5年前の前回と比較すると、総農家では減少しましたが、土地持ち非農家で増加しており、全体としてはわずかに(2.1%)増加しました。ただし、増加ペースは前回(平成12年～平成17年 11.0%)より緩やかになっています。

図9 耕作放棄地面積の推移(総農家等)

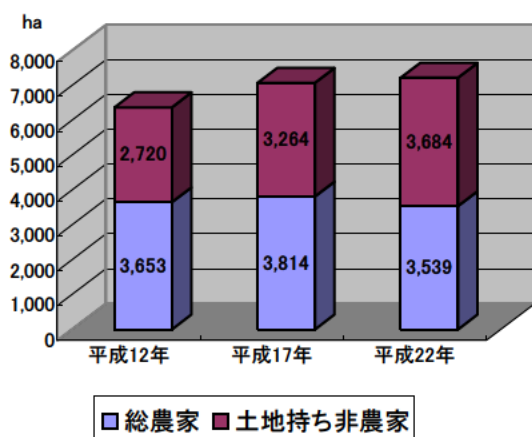


表-8 耕作放棄地面積(総農家等)

単位: ha

区分	耕作放棄 地面積	総農家	土地持ち 非農家
H22年	7,223	3,539	3,684
H17年	7,078	3,814	3,264
H12年	6,374	3,653	2,720
増減率(%) 22年/17年	2.1	△ 7.2	12.9
増減率(%) 17年/12年	11.0	4.4	20.0
構成比(%) 22年	100.0	49.0	51.0

- ・ 農家 : 調査期日現在で、経営耕地面積が10 a 以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10 a 未満であっても、調査期日前1年間における農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。
「農業を営む」とは、営利又は自家消費のために耕種、養畜、養蚕、又は自家生産の農産物を原料とする加工を行うことをいう。
- ・ 土地持ち非農家 : 農家以外で耕地及び耕作放棄地を5 a 以上所有している世帯をいう。
→農家には含まれません。

5 林業経営体

(1) 保有山林面積規模別経営体数

～すべての階層で減少～

林業経営体（2, 132経営体）を保有山林面積規模別にみると、5ha未満層は721経営体、5～10ha層は567経営体、10～50ha層は634経営体、50ha以上層は210経営体となり、すべての階層で5年前の前回調査より減少しました。

表－9 保有山林面積規模別経営体数（林業経営体）

単位：経営体

区分	林業経営体 合計	5ha未満	5～10ha	10～50ha	50ha以上
H22年	2,132	721	567	634	210
H17年	3,210	1,146	919	920	225
増減数 22年-17年	△ 1,078	△ 425	△ 352	△ 286	△ 15
増減率(%) 22年/17年	△ 33.6	△ 37.1	△ 38.3	△ 31.1	△ 6.7
構成比(%) 22年	100.0	33.8	26.6	29.7	9.8

図10 保有山林面積規模別経営体数の推移（林業経営体）

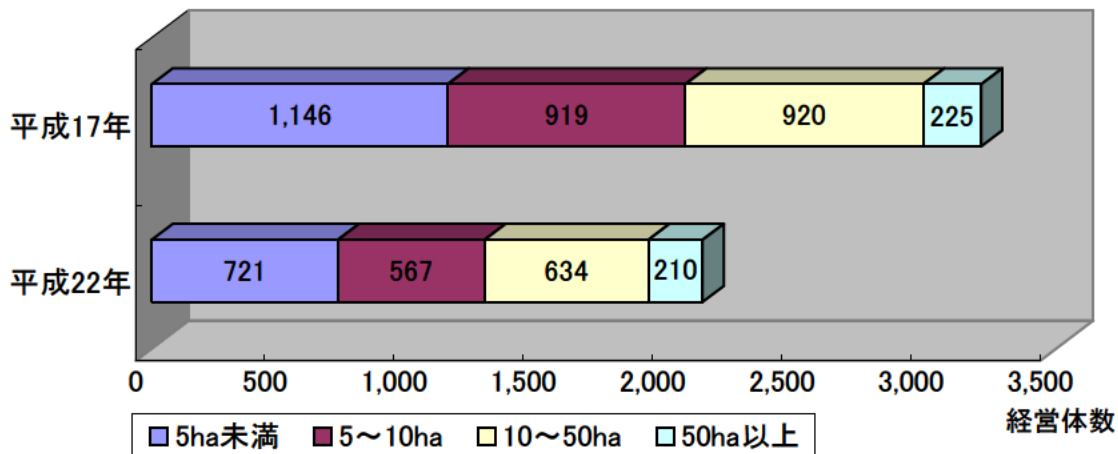


図11 保有山林面積規模別経営体数の構成比（林業経営体）

